



PRESS RELEASE

2024年5月1日

株式会社オギノ

オギノ、ガラスビンをスーパーソル(ガラス発泡リサイクル資材)にリサイクル クリエート・アゼリアと協働し、ガラスビンの資源循環を促進

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野 寛二、以下「オギノ」)は、株式会社クリエート(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:望月 満、以下「クリエート」)、株式会社アゼリア(本社:東京都小金井市、代表取締役:後藤 勲、以下「アゼリア」)と協働し、オギノ各店舗のリサイクルステーションにて回収したガラスビンを新たにスーパーソル(ガラス発泡リサイクル資材)に生まれ変わらせるリサイクルを、2024年2月1日(木)より開始しました。

オギノは、山梨県、長野県、静岡県に食品、住居関連品、衣料品を販売するスーパーマーケット、衣料専門店を合わせて全46店舗展開しています。オギノは、循環型社会の構築を目指し、SDGsの考え方を取り入れCSR活動に取り組んでいます。その一つとして、SDGsが掲げる目標12「つくる責任つかう責任」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」などを意識し、食品トレイや牛乳パック、ペットボトル、缶、ガラスビン、古紙の店頭リサイクルに注力しています。2019年以降は、古着や布団、段ボールの回収も行っています。

オギノの店頭リサイクルは約20年前から実施しており、2022年度のガラスビンの回収量は約600,000kgで、ガラスビン約150万本分に相当します。※1これまでに回収したガラスビンは、ガラスビンや路盤材の原料として利用されてきました。今回の取り組みで、お客様のご協力により集められたガラスビンの約4割がアゼリア葦崎工場にてスーパーソルにリサイクルされます。残りの6割は、これまで通りガラスビンや路盤材の原料として利用されます。

※1 ガラスビンの本数は、当社にて算出した目安値

クリエートは、山梨県甲府市に本社をおく産業廃棄物・一般廃棄物処分業者です。創業以来、産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬事業を営んでまいりました。2022年には、山梨県笛吹市にリサイクルセンターを開所し、缶類・ビン類・プラスチック類など、資源循環型社会への対応として多種多様な回収・中間処理を行っています。

アゼリアは、ガラス発泡資材事業協同組合(本部:沖縄県島尻郡八重瀬町、理事長:坪井 巖)に加盟するスーパーソル製造業者です。スーパーソルは、ガラスビンを粉碎・焼成・発泡させた軽量資材です。廃ガラスを粉碎・焼成・発泡して作るスーパーソルは、粒径2~75mmの不定形な人工軽石です。土壌成分で構成されており地球にやさしい資材です。軽量・透水性・保水性・耐火

性・断熱性などの特長を活かして、土木をはじめ緑化・農業・水質浄化・断熱などの幅広い用途で活用されており、循環型社会の構築に向けて高い付加価値をもちます。

オギノは、「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、今後も地域社会を支える小売業として、お客様やお取引先様と一体となって環境に配慮した活動を推進してまいります。

■画像

《オギノ リサイクルステーション》



《クリエート ガラスびんの中間処理》



《アゼリア スーパーソルの製造》



廃ガラスびんから生まれた新素材

スーパ-ソル

SUPER SOL

安全 超軽量 硬い 多孔質 通気性 排水性 保水性



以上